

感染症領域への局麻下胸腔鏡検査の実施状況

1. 研究へのご協力をお願い

当院では、最新の(最善の)医療を患者さんに提供するとともに、より良い治療法や診断法などを開発するための臨床研究を行っています。患者さんに参加していただいて、治療方法や診断方法が有効であるか、あるいは安全であるかを調べることを臨床研究といいます。

2. 研究の背景

悪性中皮腫や結核性胸膜炎などの胸膜病変を中心とする疾患の診断のために胸腔鏡検査が施行されています。最近では内視鏡室で局麻下に胸腔鏡検査を行う施設も増えており、胸部悪性腫瘍の診断には欠かせない手技となっています。日本においては人口構成の高齢化シフトにより局麻下胸腔鏡検査を受ける患者も高齢者が増えています。

この局麻下胸腔鏡検査は手技の普及により、感染症領域への診断・治療にも応用されています。感染性の胸膜炎の診断や膿胸の治療が代表的ですが、その実施状況に関する報告は少ないのが現状です。

そこで本研究では、当院における感染症領域への局麻下胸腔鏡検査の有用性・安全性を調べるために、後向きに調査を行うことに致しました。

3. 本研究について

この研究は、2018年1月1日から2023年10月31日までに当院で感染症領域の診断・治療目的で局所麻酔下胸腔鏡検査を行なった患者さんを対象に、検査手技、検査時間、麻酔、術後の合併症などを調べます。

感染症領域での局麻下胸腔鏡検査の有用性や安全性を明らかにすることにより、実地臨床において感染症の患者さんに検査を実施する際のマネージメントの向上に寄与すると考えられます。

4. 研究の参加はあなたの自由意志を尊重します

この研究にご自身のデータを使用されたくないと思ったときには、いつでもご連絡ください。

ご本人が亡くなられている場合は、ご家族の方の申し出でを尊重致します。

5. プライバシーの保護について

この研究で得られた情報は、医学雑誌などで公表されることがありますが、お名前や個人的な情報は一切わからないようにいたします。また研究中のデータに関しても、外部に漏れないように厳重に管理いたします。

6. お問い合わせ先について

この研究についてわからないことや、聞きたいこと、またなにかご心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく担当医師におたずねください。

また、病気や怪我などで他の治療を受ける時、より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたいときにも、担当医師までご連絡ください。なお、この研究に参加している方の個人情報や、研究の知的財産などには、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 呼吸器内科・感染症内科

〒612-8555

京都府京都市伏見区深草向畑町 1-1

TEL： 075-641-9161

Email: kfujita.acd@gmail.com

研究責任者：呼吸器内科・感染症内科 医長 藤田浩平